

平成 29 年度
キッチン関係調査・研究報告書

自炊学生が日々の生活でキッチンをどのように捉え、
どのように使っているかの意識調査

2018 年 3 月
学生アパート用のキッチン研究会

テーマ

自炊学生が日々の生活でキッチンをどのように捉え、
どのように使っているかの意識調査

目次

1. はじめに	3
2. 研究の目的	4
3. 研究の方法	5
4. アンケートの分析	9
5. 分析に基づく考察	24
6. まとめ	28
7. 添付資料：アンケート用紙	29

1.はじめに

学生たちは、自炊の経験もなく、県外の大学に入学する。入居したアパートにはキッチンはあるもののキッチンを使って自炊をしているのであろうか。今は一昔前とは違い生活の電化も進み低価格で冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器をそろえることができる。従って、スーパーに行って食材さえ買ってくれば、アパート内で調理して食べることができるのである。

しかし、一方では、この電化によってさまざまな食種のファーストフード店やコンビニエンスストアが身近に数多くできていて、さらに料理をつくる手間がなく、安くて、早く、美味しく食べられるという自炊経験のない学生にとってはありがたい環境でもある。

だが、安くて、早く、美味しく食べられるという反面、脂肪分や塩分、糖分が多く、栄養価の低い食べ物としても知られているのである。このような環境の中、学生たちはどの程度自炊をしているのか、その自炊の実態がわからない。また、自炊でつくっている食事の料理というものがどのような料理なのか、どれほどの時間を費やしてつくっているのであろうか、その料理の食材にいくらのお金をかけているのであろうか、料理をつくる調理スペースはあるのだろうか、考えると益々疑問が浮かんでくるのである。

一方では、電子レンジで「チーン」とするだけで食べれたり、お湯を注いで3分、5分で食べれたりする食材もあり、調理器・調理台・流し台というキッチンが無くともよいのではないか、という疑問にもぶつかってくる。キッチンが無くとも水と電気と電子レンジがあれば食べれる食材があるのである。この疑問を解くためにも学生の自炊に対する意識調査をする必要性を感じたのである。

平成 30 年 3 月

学生アパート用のキッチン研究会

棒田邦夫（金沢学院大学）

石黒鳴子（積水ハウス株式会社北陸支店）

新舛静香（(株)スパイラル）

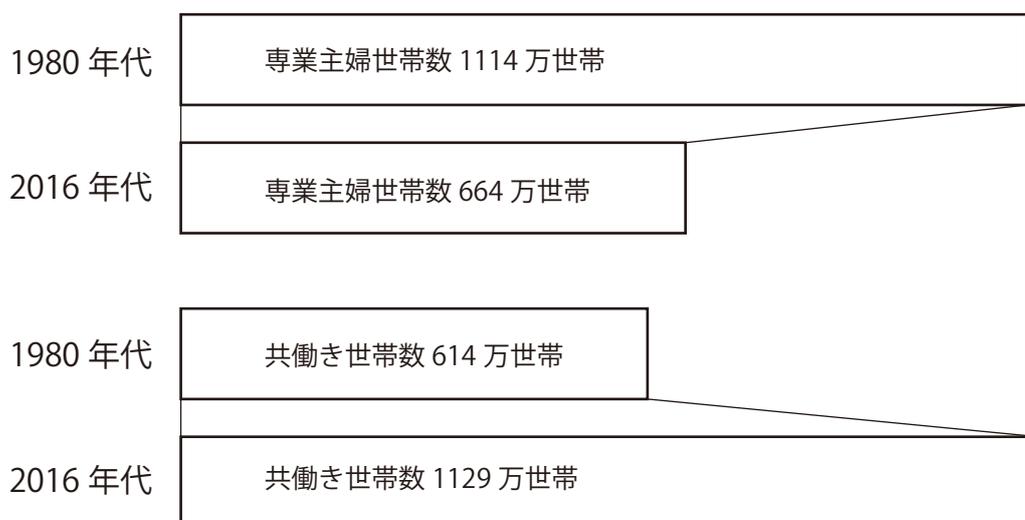
高橋未樹子（コマニー株式会社）

森信太郎（さんのきファクトリー合同会社）

※ この調査研究は、公益社団法人インテリア産業協会の助成金を受けて行いました。

2. 研究の目的

1950年代後半に三種の神器として脚光を浴びたのが、白黒テレビ・冷蔵庫・洗濯機である。1960年代になるとカラーテレビ・クーラー・自動車が新三種の神器となってきた。以後1973年にかけて家庭の電化が飛躍的に伸びて、家事の負担も軽減されてくると専業主婦世帯数よりも共働き世帯数が増えてくる。同時により家事の削減ができるロボット掃除機、全自動洗濯機、食器洗い機、電子レンジなども必要不可欠となってきている。



(男女参画白書平成28年度版、総務省統計局「労働力調査」)

この変化は1人暮らしで風呂のない・共同トイレ・共同流し台の下宿またはアパートにも変化が広がり、いまや1人暮らしアパートには区別された風呂とトイレがあり、調理器・調理台・流し台といったキッチンも備えられ、さらにプライベート性も確保されているのが標準となっている。このような恵まれたアパート環境の中、学生たちは毎日食材を使って調理をするという自炊をしているのであろうか。

本研究では、今、焼きそばが食べたい・パスタが食べたい・ラーメンが食べたい・カレーライスが食べたいと思うと、スーパーマーケットやコンビニエンスストアで冷凍になったものが売られているので、食べたいと思う冷凍食品を買い込んで冷凍庫に保冷しておけば料理の食材を買い揃える必要なく食べることができる。という、現実から学生たちが実際に調理するという自炊をしているのかどうか。または、自炊のする、しないの理由にキッチンの環境条件も影響しているのかもしれないと考えている。いずれにしても、これまで学生の自炊に対する意識調査がなされていないことから調査研究をするものである。

3. 研究の方法

意識調査の方法は、大学生を被験者にしてアンケートを行う。被験者の大学生は私、棒田の科目受講学生によるものと受講生の友人を対象の他、千葉の大学教授、大阪の大学教授の科目受講生を対象として行う。今回のアンケートの特徴としては、お味噌などは地域の水質・風土・気候によって白みそ、八丁味噌などがあり、味も違ってくるように自炊の意識も違うのではないかと考え、地域を石川、千葉、大阪の3地域でアンケートを実施し、地域による自炊の意識の違いも併せて考察することにした。

■ アンケートのタイトル名は『食生活における自炊とキッチンの活用状況に関する調査』

○ アンケートの記入方法：A4に印刷した用紙に設問を35問用意して該当すると思われる番号に○をつけてもらう方法。

○ アンケートの協力：金沢学院大学芸術学部
千葉工業大学工学部
千葉県立保健医療大学
大阪市立大学

○ アンケートの期間：2017年11月20日～12月10日

○ アンケートの回収数：金沢学院大学芸術学部 92名
千葉工業大学工学部 75名
千葉県立保健医療大学 72名
大阪市立大学 421名

■ アンケートの設問方法1

自炊をする、しないの要因として住まいと大学までの通学時間の影響から調理をする時間があるのか・ないのか、それともキッチンの有無によって自炊をする・しないということがあるのか、または新三種の神器でもある冷蔵庫、電子レンジ、湯沸かしポットがないために自炊をする・しないの理由となっているのか、を、先ず聞くことから世間でいわれている新生活の必需品〔白もの家電〕を備えているかを確認する設問から始めて、食生活を営むための基本ができているのかどうかを知る。

1. 『お住まいの地域』の設問を用意する。
2. 『大学までの通学時間』の設問を用意する。
3. 『キッチンがあるのか』の設問を用意する。

■ アンケートの設問方法2

アンケートの設問方法1を受けてアンケートの設問方法2では本題としての自炊の有無を聞いていく設問とする。

1. 『自炊について』の設問を用意する。

まずは客観的な自炊の状況を知る設問から始める。

2. 『自炊に要する時間』の設問を用意する。

『自炊』という言葉のニュアンスは、受け取る学生によってはカップラーメンも自炊、冷凍食品を解凍・温めるも自炊、食材を調理してつくるのも自炊、いろいろな解釈があると考え、アンケートには『自炊に要する時間』という設問を用意する。ただし、15分以下というのは食材を調理してつくっていないので、自炊とは考えにくい。自炊と考えられるのは、食材のカット・下ごしらえをして、鍋、フライパンという調理器具を使ってつくることであり、料理内容によって時間の差はあるものの調理時間として要する時間は30分～45分と考えられ、この範囲であれば自炊といえる。したがって、この設問によって自炊の有無とカップラーメン・冷凍食品による食生活であるか否かがわかる。

- ① 5分以下 ・・・カップラーメンと考える
- ② 5分～15分 ・・・電子レンジでの調理と考え、主に冷凍食品を対象。
- ③ 15分～30分 ・・・食材をカットしてフライパンによる炒め物、焼き物類。
- ④ 30分～45分 ・・・食材をカットして煮る、煮物・鍋ものとする。
- ⑤ 45分以上 ・・・長時間煮込んで食べるシチューを考える
- ⑥ その他 ・・・具体的な記述の書き込み

3. 『よくつくる料理』の設問を用意する。

この設問があることで記述した料理名と『自炊に要する時間』から自炊によるものなのか、お湯と電子レンジによるカップラーメン・冷凍食品なのかの区別が付き、自炊への意識がどの程度持っているかを把握できる。

4. 『食材の購入先』の設問を用意する。

買い物というと一般にはスーパーマーケットが買い物先と考えるが、身近にまたは近所にはない。そのことから学生たちはスーパーマーケットよりは身近にあるコンビニエンスストアの方を買い物先として利用しているのではないかと考えその行動についての把握をするためにこの設問を用意する。もしもこの設問でコンビニエンスストアでの利用が多くなると自炊をしない可能性が高くなる。コンビニエンスストアでの食材となると出来上がった弁当、おにぎり、冷凍食品、カップ麺が中心と考えられるからである。では、スー

パーマーケットでの利用が多いとなると自炊をしている、ということになる。しかし、自炊となると食材購入のためにスーパーマーケットへ3日に1回は行く必要がある。1週間に1回行く場合はまとめ買いをしなければならないので、購入金額が高くなる。この設問だけでは判断ができないので、併せて食材回数と購入金額も確認出来るよう『食材の購入回数』『食材の購入金額』の設問も用意する。

5. 『食材の購入回数』の設問を用意する。

食材の購入回数では、以下の選択肢を用意した。①～③の場合はコンビニエンスストアを、④～⑥はスーパーマーケットを意識した回数に設定する。スーパーマーケットは住まいから距離があると考えられるので、1日に度々行くことは考えにくい。コンビニエンスストアは身近にあるので、1日に何度でも訪れる可能性が高い。そこで、①～③はコンビニエンスストア、④～⑥はスーパーマーケットとして設問を区別して設けた。

- ① 1日に1回
- ② 1日に2回
- ③ 1日に3回
- ④ 2日に1回
- ⑤ 3日に1回
- ⑥ その他

6. 『食材の購入金額』の設問を用意する。

1回の食材買い物にいくら金額を使うのか、この設問ではスーパーマーケットでの購入なのか、コンビニエンスストアでの購入なのかを知る判断としたい。この設問は購入回数とも関わってくる。ここでは①②がコンビニエンスストアを想定した。コンビニエンスストアは身近にあるので利用回数も多く金額も1000円未満が多いと考えた。④⑤がスーパーマーケットを想定した。スーパーマーケットまでは距離があり、時間もかかることからまとめ買いすることから金額も多くなると考えた。ただし、③はどちらともとれるが、ここではスーパーマーケットでの買い物金額と考える。

- ① 500円以下
- ② 500～1000円
- ③ 1000円～1500円
- ④ 1500円～2000円

⑤ 2000 円以上

■ アンケートの設問方法 3

自炊のする・しないの要因にキッチンの広さ、位置、形状、設備も関係しているのではないかと考え以下の設問を用意する。

1. 『加熱設備』『加熱設備の口数』『給湯器』

加熱設備は必ず付いていると考えられるが、確認の意味で有無を聞くとともに加熱器具がガスか、IH か、電気コンロか、そして口の数についても聞く。また、給湯器の有無について確認の意味で聞く。

『加熱設備』 ① ガス ② IH ③ 電気コンロ ④ ない

『加熱設備の口数』 ① 1口 ② 2口 ③ 3口

『給湯器』 ① 室内に付いている ② 室外に付いている ③ ない

2. 『台所の広さ』

広さがあるとないのでは心理的な影響を与えられられる。

① かなり狭い ② 狭い ③ ちょうど良い ④ 広い ⑤ かなり広い

3. 『台所の平面形』

台所には必要な冷蔵庫、電子レンジ、食器棚が置くスペースがあるか、ないかの基準を求める条件として聞いてみる。正方形であれば置くスペースの可能性が高く、長方形だと置くスペースの可能性が低くと考えられる。

① 正方形 ② 長方形 ③ その他

4. 『調理スペース』

客観的に見たイメージで感じることを聞く。見た目のイメージは大切で、心理的な行動にも影響を与えられられると考え、この設問を用意する。

① 調理スペースが十分にある ② 調理スペースがある ③ 調理スペースがない

④ 調理スペースが全くない ⑤ その他

5. 『台所の位置』

玄関に接しているか、いないかによって調理スペースの余裕を与えてくれると考えた。

① 玄関に接している ② 玄関から独立している ③ 部屋の中にある ④ 玄関と部屋から独立している ⑤ その他

4. アンケートの分析

千葉地域の分析

被験者 147 名の内、自宅通学生は 96 名、
アパート通学生は 51 名である。(表-1)

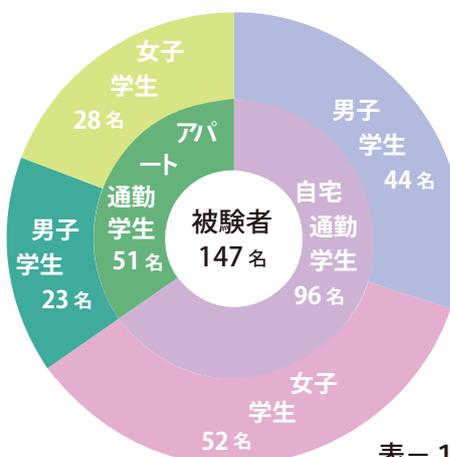


表-1 千葉地域

■アンケートの設問方法 1 による分析

◎ 自宅通学生の分析 (表-2)

Q.01 『お住まいの地域』で、

- ① 千葉市が 22 名
- ② 習志野市が 1 名
- ③ 船橋市が 5 名
- ④ 市川市が 2 名
- ⑤ その他の市区が 66 名

であった。

Q.04 『大学までの通学時間』で、

- ① 15 分以下が 2 名
- ② 15 分～30 分が 10 名
- ③ 30 分～45 分が 16 名
- ④ 45 分～60 分が 16 名
- ⑤ 60 分以上が 52 名

であった。

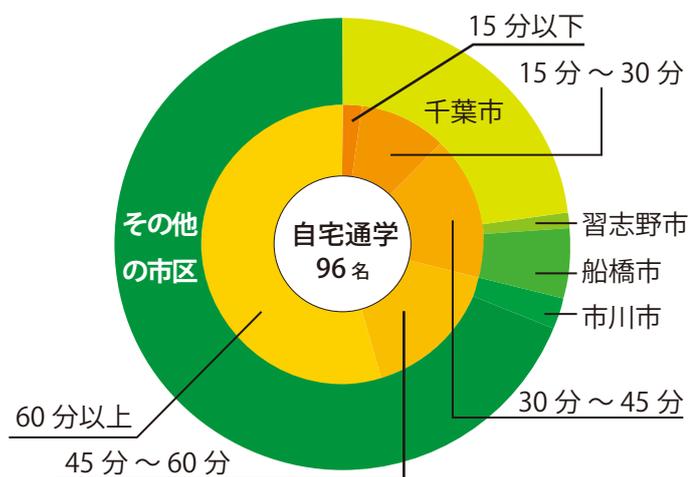


表-2 自宅通学生

Q.06 『キッチンがあるのか』で、

- ① あるが 96 名
- ② ないが 0 名

◎ アパート通学生の分析 (表-3)

Q.01 『お住まいの地域』で、

- ① 千葉市が 22 名
- ② 習志野市が 19 名

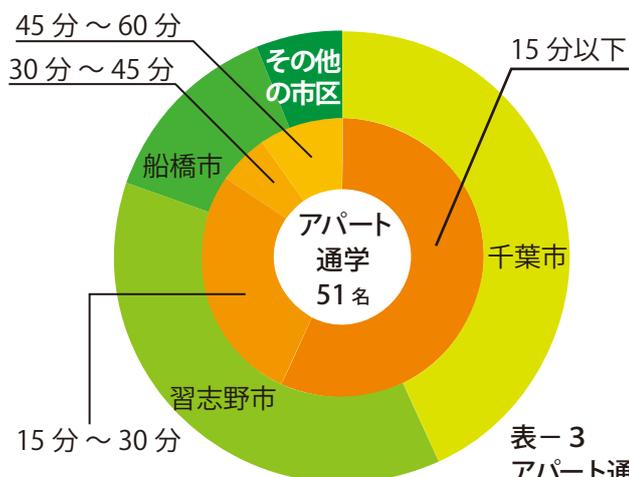


表-3
アパート通学生

- ③ 船橋市が 7 名
- ④ 市川市が 0 名
- ⑤ その他の市区が 3 名

であった。

Q.04『大学までの通学時間』で、

- ① 15 分以下が 29 名
- ② 15 分～30 分が 14 名
- ③ 30 分～45 分が 3 名
- ④ 45 分～60 分が 5 名
- ⑤ 60 分以上が 0 名

であった。

Q.06『キッチンがあるのか』で、

- ①あるが 51 名
- ②ないが 0 名

■アンケートの設問方法 2 による分析

この設問では、男子学生と女子学生別に分析する。

◎ 自宅通学生の分析（表－4）

Q.09『冷蔵庫』

男女共に全員が備えていた。

Q.10『電子レンジ』

男子学生 43 名が備えていて、1 名が備えていなかった。女子学生は全員が備えていた。

Q.11『湯沸ポット』

男子学生 34 名が備えていて、10 名が備えていなかった。女子学生 39 名が備えていて、13 名が備えていなかった。

Q.12『自炊について』

男子学生では、[毎日する] と回答したのが 2 名、[時々する] と回答したのが 14 名、[全くしない] と回答したのが 28 名であった。

表-4

	男子学生 44名					女子学生 52名					
通学時間											
① 15分以下 ② 15分～30分 ③ 30分～45分 ④ 45分～60分 ⑤ 60分以上	② 7	③ 7	④ 7	⑤ 23		① 2	② 3	③ 9	④ 9	⑤ 29	
冷蔵庫											
① ある ② ない	① 44					① 52					
電子レンジ											
① ある ② ない	① 43					② 1	① 52				
湯沸ポット											
① ある ② ない	① 34			② 10		① 39			② 13		
自炊について											
① 毎日する ② 時々する ③ 全くしない	① 2	② 14		③ 28		① 4	② 26		③ 22		
自炊に要する時間											
① 5分以下 ② 5分～15分 ③ 15分～30分 ④ 30分～45分 ⑤ 45分以上 ⑥ その他	② 3	③ 6	④ 4	⑤ 3		② 7	③ 10		④ 6	⑤ 7	
よくつくる料理	カレーライス・パスタ・うどん (3名) 唐揚げ・フレンチトースト (2名)					スープ (6名)、ハンバーグ (4名)、カレーライス・炒飯・卵焼き・目玉焼き (3名)、パスタ・うどん・オムレツ・煮物・焼きそば・ホットケーキ (2名)					
食材の購入先											
① コンビニエンスストア ② スーパーマーケット ③ デパ地下 ④ ファーストフード ⑤ 専門店 ⑥ その他	① 12	② 42			③ 7	④ 4	⑤ 4	⑥ 1	(複数回答)		
食材購入の回数											
① 1日に1回 ② 1日に2回 ③ 1日に3回 ④ 2日に1回 ⑤ 3日に1回 ⑥ その他	① 9	② 3	③ 1	④ 6	⑤ 18	⑥ 7	① 18	④ 8	⑤ 10	⑥ 18	
食材購入の金額											
① 500円以下 ② 500～1000円 ③ 1000円～1500円 ④ 1500円～2000円 ⑤ 2000円以上	① 10	② 10		③ 6	④ 6	⑤ 10	① 3	② 11	③ 10	④ 5	⑤ 20
	未回答 2					未回答 3					

女子学生では、[毎日する] と回答したのが 4 名、[時々する] と回答したのが 26 名、[全くしない] と回答したのが 22 名であった。

Q.17 『自炊に要する時間』

男子学生では [毎日する] [時々する] を合わせると 16 名おり、時間は以下のとおりであった。

- ② 5 分～15 分が、3 名
- ③ 15 分～30 分が、6 名
- ④ 30 分～45 分が、4 名
- ⑤ 45 分以上が、3 名

女子学生では [毎日する] [時々する] を合わせると 30 名おり、時間は以下のとおりであった。

- ② 5 分～15 分が、7 名
- ③ 15 分～30 分が、10 名
- ④ 30 分～45 分が、6 名
- ⑤ 45 分以上が、7 名

Q.18 『よくつくる料理』

男子学生ではカレーライス・パスタ・うどんが 3 名、唐揚げ・フレンチトーストが 2 名であった。女子学生ではスープ 6 名、ハンバーグ 4 名、カレーライス・炒飯・卵焼き・目玉焼き 3 名、パスタ・うどん・オムレツ・煮物・焼きそば・ホットケーキが 2 名であった。

Q.33 『食材の購入』

男子学生では、42 名がスーパーマーケットと回答し、次いで極端に少なく 12 名であった。女子学生も同じ傾向を示し 51 名がスーパーマーケットと回答し、次いで極端に少なく 6 名であった。

Q.34 『食材購入の回数』

男子学生では、3 日に 1 回が 18 名であった。女子学生では、1 日に 1 回とその他が同じ 18 名であった。

Q.35 『食材購入の金額』

男子学生では、500 円以下、500～1000 円、2000 円以上が同率でそれぞれ 10 名であった。女子学生 1500～2000 円が 20 名と多かった。

◎ アパート通学生の分析（表－5）

Q.09 『冷蔵庫』

男女共に全員が備えていた。

Q.10 『電子レンジ』

男子学生 22 名が備えていて、1 名が備えていなかった。女子学生は全員が備えていた。

Q.11 『湯沸ポット』

男子学生 18 名が備えていて、5 名が備えていなかった。女子学生 20 名が備えていて、8 名が備えていなかった。

Q.12 『自炊について』

男子学生では、[毎日する] と回答したのが 8 名、[時々する] と回答したのが 13 名、[全くしない] と回答したのが 2 名であった。

女子学生では、[毎日する] と回答したのが 11 名、[時々する] と回答したのが 17 名、[全くしない] と回答したのが 0 名であった。

Q.17 『自炊に要する時間』

男子学生では [毎日する] [時々する] を合わせると 21 名おり、時間は以下のとおりであった。

- ① 5 分以下が、1 名
- ② 5 分～15 分が、4 名
- ③ 15 分～30 分が、10 名
- ④ 30 分～45 分が、5 名
- ⑤ 45 分以上が、1 名

女子学生では [毎日する] [時々する] を合わせると 28 名おり、時間は以下のとおりであった。

- ① 5 分以下が、1 名
- ② 5 分～15 分が、2 名

表-5

	男子学生 23 名				女子学生 28 名						
通学時間											
① 15分以下	①	②	④		①	②	③	④			
② 15分~30分	14	7	2		15	7	3	3			
③ 30分~45分											
④ 45分~60分											
⑤ 60分以上											
冷蔵庫											
① ある	① 23				① 28						
② ない											
電子レンジ											
① ある	① 22			② 1	① 28						
② ない											
湯沸ポット											
① ある	① 18			② 5	① 20		② 8				
② ない											
自炊について											
① 毎日する	①	②	③		①	②					
② 時々する	8	13	2		11	17					
③ 全くしない											
自炊に要する時間											
① 5分以下	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④		
② 5分~15分	1	4	10	5	1	1	2	8	17		
③ 15分~30分											
④ 30分~45分											
⑤ 45分以上											
⑥ その他											
よくつくる料理	炒め物 (8名)、カレーライス (6名)、 パスタ (4名)、炒飯 (3名)、丼・煮物・ ラーメン・卵焼き・うどん・みそ汁(2名)				炒め物 (13名)、卵焼き (8名)、オムライス (7名)、 みそ汁(6名)、スープ・カレーライス(5名)、パスタ・ 炒飯(4名)、煮物(3名)、丼・シチュー(2名)						
食材の購入先											
① コンビニエンスストア	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
② スーパーマーケット	4	23			10	28					
③ デパ地下	①				2						
④ ファーストフード	①				2						
⑤ 専門店	①				①						
⑥ その他	①				①						
食材購入の回数											
① 1日に1回	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
② 1日に2回	2	1	1	15	4	1	1	1	5	9	11
③ 1日に3回											
④ 2日に1回											
⑤ 3日に1回											
⑥ その他											
食材購入の金額											
① 500円以下	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤		
② 500~1000円	5	8	6	4	2	7	10	7	2		
③ 1000円~1500円											
④ 1500円~2000円											
⑤ 2000円以上											

- ③ 15分～30分が、8名
- ④ 30分～45分が、17名

Q.18『よくつくる料理』

男子学生では、炒め物が8名、カレーライスが6名、パスタが4名、炒飯が3名、丼・煮物・ラーメン・卵焼き・うどん・みそ汁が2名であった。女子学生では、炒め物が13名、卵焼きが8名、オムライスが7名、みそ汁が6名、スープ・カレーライスが5名、パスタ・炒飯が4名、煮物が3名、丼・シチューが2名であった。

Q.33『食材の購入』

男子学生では、23名がスーパーマーケットと回答し、次いで極端に少なく4名であった。女子学生も同じ傾向を示し28名がスーパーマーケットと回答し、次いで極端に少なく10名であった。

Q.34『食材購入の回数』

男子学生では、3日に1回が15名であった。女子学生では、その他が11名と多く、次いで1日に3回とその他が同じ9名であった。

Q.35『食材購入の金額』

男子学生では、1000～1500円が8名、1500～2000円が6名であった。女子学生では、1000～1500円が10名、500～1000円と1500～2000円が7名であった。

■ アンケートの設問方法3による分析（アパート学生）

1. [男子学生] 加熱設備では、ガスが12名、IHが10名、電気コンロが1名であった。
加熱設備の口数では、1口が11名、2口が10名、3口が2名であった。
給湯器では、室内に付いているのが7名、室外に付いているのが13名、ないのが3名であった。
[女子学生] 加熱設備では、ガスが11名、IHが18名であった。
加熱設備の口数では、1口が13名、2口が12名、3口が4名であった。
給湯器では、室内に付いているのが5名、室外に付いているのが10名、ないのが13名であった。

2. 台所の広さ

男子学生では、かなり狭いが6名、狭いが11名、ちょうど良いが6名であった。女子学生では、かなり狭いが4名、狭いが13名、ちょうど良いが11名であった。

3. 台所の平面形

男子学生では、正方形が2名、長方形が21名であった。女子学生では、長方形が28名であった。

4. 調理スペース

男子学生では、調理スペースが十分にあるが1名、調理スペースがあるが11名、調理スペースがないが10名で、調理スペースが全くないが1名であった。女子学生では、調理スペースが十分にあるが5名、調理スペースがあるが10名、調理スペースがないが13名で、調理スペースが全くないが1名であった。

5. 台所の位置

男子学生では、玄関に接しているが18名、玄関から独立しているが2名、部屋の中にあるが2名、玄関と部屋から独立しているのが2名であった。女子学生では、玄関に接しているが17名、玄関から独立しているが6名、部屋の中にあるが2名であった。

③ 30分～45分が1名

⑤ 60分以上が1名

であった。

Q.06『キッチンがあるのか』で、

①あるが41名

②ないが0名

■アンケートの設問方法2による分析

この設問では、男子学生と女子学生別に分析する。

◎ 自宅通学生の分析（表－9）

Q.09『冷蔵庫』

男女共に全員が備えていた。

Q.10『電子レンジ』

男女共に全員が備えていた。

Q.11『湯沸ポット』

男子学生13名が備えていて、6名が備えていなかった。女子学生19名が備えていて、4名が備えていなかった。

Q.12『自炊について』

男子学生では、[毎日する]と回答したのが5名、[時々する]と回答したのが2名、[全くしない]と回答したのが12名であった。

女子学生では、[毎日する]と回答したのが2名、[時々する]と回答したのが6名、[全くしない]と回答したのが15名であった。

Q.17『自炊に要する時間』

男子学生では[毎日する][時々する]を合わせると7名おり、時間は以下のとおりであった。

② 5分～15分が、1名

③ 15分～30分が、2名

④ 30分～45分が、1名

表-9

通学時間

- ① 15分以下
- ② 15分～30分
- ③ 30分～45分
- ④ 45分～60分
- ⑤ 60分以上

男子学生 19名					女子学生 23名				
①	②	③	④	⑤					
1	2	1	3	12					

冷蔵庫

- ① ある
- ② ない

① 19	② 23
------	------

電子レンジ

- ① ある
- ② ない

① 19	② 23
------	------

湯沸ポット

- ① ある
- ② ない

① 13	② 6	① 19	② 4
------	-----	------	-----

自炊について

- ① 毎日する
- ② 時々する
- ③ 全くしない

① 5	② 2	③ 12	① 2	② 6	③ 15
-----	-----	------	-----	-----	------

自炊に要する時間

- ① 5分以下
- ② 5分～15分
- ③ 15分～30分
- ④ 30分～45分
- ⑤ 45分以上
- ⑥ その他

② 1	③ 2	④ 1	⑤ 2	⑥ 1	② 1	③ 3	④ 4
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

よくつくる料理

サラダ (4名)、カレーライス (2名)
みそ汁 (2名)、パスタ、目玉焼き、
焼物、シチュー、マーボ豆腐、焼肉

目玉焼き (2名)、ラーメン (2名)、カレーライス
シチュー、パスタ、そうめん、うどん、サラダ、焼物
お茶漬け、トースト

食材の購入先

- ① コンビニエンスストア
- ② スーパーマーケット
- ③ デパ地下
- ④ ファーストフード
- ⑤ 専門店
- ⑥ その他

① 4	① 4
② 17	② 21
③	③ 1
④ 1	④ 2
⑤ 2	⑤
⑥ 2	⑥

食材購入の回数

- ① 1日に1回
- ② 1日に2回
- ③ 1日に3回
- ④ 2日に1回
- ⑤ 3日に1回
- ⑥ その他

① 5	③ 1	④ 2	⑤ 7	⑥ 3	① 9	② 1	④ 3	⑤ 4	⑥ 3
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

未回答 11

未回答 3

食材購入の金額

- ① 500円以下
- ② 500～1000円
- ③ 1000円～1500円
- ④ 1500円～2000円
- ⑤ 2000円以上

① 6	② 1	③ 2	④ 3	⑤ 7	① 2	② 2	③ 6	④ 2	⑤ 8
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

未回答 3

- ⑤ 45分以上が、2名
- ⑥ その他が1名

女子学生では「毎日する」「時々する」を合わせると8名おり、時間は以下のとおりであった。

- ② 5分～15分が、1名
- ③ 15分～30分が、3名
- ④ 30分～45分が、4名

Q.18『よくつくる料理』

男子学生では、サラダが3名、カレーライス・みそ汁が2名であった。女子学生では、目玉焼き・ラーメンが2名であった。

Q.33『食材の購入』

男子学生では、17名がスーパーマーケットと回答し、次いで極端に少なくコンビニエンスストアが4名であった。女子学生も同じ傾向を示し21名がスーパーマーケットと回答し、次いで極端に少なくコンビニエンスストアが4名であった。

Q.34『食材購入の回数』

男子学生では、3日に1回が7名であった。女子学生では、1日に1回が多く9名であった。

Q.35『食材購入の金額』

男子学生では、2000円以上が7名、500円以下が6名であった。女子学生2000円以上が8名、1000～1500円が次に多かった。

◎ アパート通学生の分析（表-10）

Q.09『冷蔵庫』

男女共に全員が備えていた。

Q.10『電子レンジ』

男女共に全員が備えていた。

Q.11 『湯沸ポット』

男子学生 17 名が備えていて、2 名が備えていなかった。女子学生 16 名が備えていて、6 名が備えていなかった。

Q.12 『自炊について』

男子学生では、[毎日する] と回答したのが 5 名、[時々する] と回答したのが 11 名、[全くしない] と回答したのが 3 名であった。

女子学生では、[毎日する] と回答したのが 10 名、[時々する] と回答したのが 11 名、[全くしない] と回答したのが 1 名であった。

Q.17 『自炊に要する時間』

男子学生では [毎日する] [時々する] を合わせると 16 名おり、時間は以下のとおりであった。

- ② 5 分～15 分が、3 名
- ③ 15 分～30 分が、8 名
- ④ 30 分～45 分が、3 名
- ⑤ 45 分以上が、2 名

女子学生では [毎日する] [時々する] を合わせると 21 名おり、時間は以下のとおりであった。

- ② 5 分～15 分が、3 名
- ③ 15 分～30 分が、9 名
- ④ 30 分～45 分が、6 名
- ⑤ 45 分以上が、3 名

Q.18 『よくつくる料理』

男子学生では、炒め物が 5 名、卵焼きが 4 名で、焼き肉・炒飯・カレーライス・丼が 3 名で、焼き物・煮物が 2 名であった。女子学生では、パスタが 8 名、炒め物が 7 名、卵焼きが 6 名、煮物が 5 名、オムライス・丼・みそ汁・スープが 4 名、カレーライス・炒飯・サラダが 3 名であった。

表-10

通学時間

- ① 15分以下
- ② 15分～30分
- ③ 30分～45分
- ④ 45分～60分
- ⑤ 60分以上

男子学生 19名				女子学生 22名	
①	②	③	⑤	①	②
12	5	1	1	12	10

冷蔵庫

- ① ある
- ② ない

① 19	② 22
------	------

電子レンジ

- ① ある
- ② ない

① 19	② 22
------	------

湯沸ポット

- ① ある
- ② ない

① 17	② 2	① 16	② 6
------	-----	------	-----

自炊について

- ① 毎日する
- ② 時々する
- ③ 全くしない

① 5	② 11	③ 3	① 10	② 11	③ 1
-----	------	-----	------	------	-----

自炊に要する時間

- ① 5分以下
- ② 5分～15分
- ③ 15分～30分
- ④ 30分～45分
- ⑤ 45分以上
- ⑥ その他

② 3	③ 8	④ 3	⑤ 2	② 3	③ 9	④ 6	⑤ 3
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

よくつくる料理

炒め物 (5名)、卵焼き (4名)、焼肉・炒飯・カレーライス・丼 (3名)、焼き物 (2名)、煮物 (2名)

パスタ (8名)、炒め物 (7名)、卵焼き (6名)、煮物 (5名)、オムライス・丼・みそ汁・スープ (4名) カレーライス・炒飯・サラダ (3名)

食材の購入先

- ① コンビニエンスストア
- ② スーパーマーケット
- ③ デパ地下
- ④ ファーストフード
- ⑤ 専門店
- ⑥ その他

① 8	① 11
② 17	② 23
③ 1	③
④ 1	④ 1
⑤ 1	⑤
⑥	⑥

(複数回答)

(複数回答)

食材購入の回数

- ① 1日に1回
- ② 1日に2回
- ③ 1日に3回
- ④ 2日に1回
- ⑤ 3日に1回
- ⑥ その他

① 2	② 1	④ 1	⑤ 6	⑥ 9	① 3	② 1	④ 2	⑤ 6	⑥ 10
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

食材購入の金額

- ① 500円以下
- ② 500～1000円
- ③ 1000円～1500円
- ④ 1500円～2000円
- ⑤ 2000円以上

② 3	③ 3	④ 6	⑤ 6	② 4	③ 4	④ 10	⑤ 4
-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

未回答 1

Q.33 『食材の購入』

男子学生では、17名がスーパーマーケットと回答し、次いで極端に少なくコンビニエンスストアが8名であった。女子学生も同じ傾向を示し23名がスーパーマーケットと回答し、次いでコンビニエンスストアが11名であった。

Q.34 『食材購入の回数』

男子学生では、その他が9名、3日に1回が6名であった。女子学生では、その他が10名と多く、次いで1日に3回が6名であった。

Q.35 『食材購入の金額』

男子学生では、1500～2000円と2000円以上が6名であった。女子学生では、1500～2000円が10名と最も多かった。

■ アンケートの設問方法3による分析（アパート学生）

1. [男子学生] 加熱設備では、ガスが6名、IHが12名であった。

加熱設備の口数では、1口が12名、2口が5名であった。

給湯器では、室内に付いているのが6名、室外に付いているのが6名、ないのが5名であった。

[女子学生] 加熱設備では、ガスが12名、IHが11名であった。

加熱設備の口数では、1口が13名、2口が9名であった。

給湯器では、室内に付いているのが12名、室外に付いているのが8名、ないのが2名であった。

2. 台所の広さ

男子学生では、かなり狭いが5名、狭いが7名、ちょうど良いが6名であった。女子学生では、かなり狭いが3名、狭いが9名、ちょうど良いが8名、広いが1名、かなり広いが1名であった。

3. 台所の平面形

男子学生では、正方形が3名、長方形が16名であった。女子学生では、正方形が3名、長方形が19名であった。

4. 調理スペース

男子学生では、調理スペースがあるが11名、調理スペースがないが4名で、調理スペースが全くないが4名であった。女子学生では、調理スペースが十分にあるが2名、調理スペースがあるが14名、調理スペースがないが5名で、調理スペースが全くないが1名であった。

5. 台所の位置

男子学生では、玄関に接しているが13名、部屋の中にあるが4名、玄関と部屋から独立しているのが2名であった。女子学生では、玄関に接しているが16名、玄関から独立しているが1名、部屋の中にあるが5名であった。

5. 分析に基づく考察

5-1. 千葉地域の考察

アンケートの設問方法1より

アパート暮らしの学生が多いと考えていたが、集計してみると自宅からの通学生が多いことがわかった。(表-1) だが、通学生は千葉市近郊からの通学ではなく、東京都内や横浜方面からの通学生であった。通学時間も60分以上かかって通学している学生が自宅通学生の約70%を占めていた。(表-2) 一方、アパート通学生は大学から15分の距離に住んでいる学生が多く、千葉市近郊に集中していて、60分以上かけて通学する学生はいなかった。(表-3) また、アパート通学生のアパートにはすべてキッチンが備えられていることもわかった。東京都内からの距離は電車の便が少ない金沢と違って多くの本数の電車が走っているため、アパートを借りる必要のない距離であるようである。東京都内から千葉市までの距離を考えると、金沢であればアパートを借りるところである。

アンケートの設問方法2より

自宅通学生においては冷蔵庫、電子レンジはすべての被験者が備えられていた。湯沸ポットは被験者の約8割が備えていた。自炊の有無では、全くしないという回答が一番多く男女共に全被験者の6割を占めていた。ただし、時々するという被験者の中では男性被験者が1に対し女性被験者が2の割合であった。男性よりは女性の方が母親の代わりに食事をつくることが多いのであろうと考えられる。自炊する・時々自炊をすると回答した被験者に自炊時に良くつくる料理を聞いてみると男子学生ではカレーライス・パスタ・うどんが

多く、女子学生ではスープ、ハンバーグをつくるのが多かった。これを自炊に要する時間と照らしあわせてみると男子学生は15分～30分が多いのでパスタ・うどんにおいてはちゃんとつくっていることがわかる。女子学生は15分以上はかけて自炊をしているの多いことから被験者の女子学生は自宅の手伝いとして母親の代わりに自炊をしているのだろうと推察できる。また、女子学生の食材購入金額をみても2000円以上と回答していること、食材の購入先がスーパーマーケットであること、食材購入回数が3日に1回が多いことを観察すると時々するという自炊がお母さんのお手伝いとして考えられる。

アパート通学生においては、冷蔵庫・電子レンジはすべての被験者が備えていた。湯沸ポットも先の自宅通学生よりは多かった。自炊の有無では、男子学生は「毎日する」「時々する」をあわせて約9割が自炊をしていた。女子学生では、すべての被験者が「毎日する」「時々する」と回答し、自炊をしていることがわかった。自炊の質、内容としては「自炊に要する時間」「よくつくる料理」から男子学生はあまり時間をかけずに食べられる調理料理が多いとみうけられ、鍋、フライパンを使う自炊ではなく電子レンジを使った自炊と推察できる。女子学生は調理時間が30分～45分かけていることから少なくとも鍋、フライパンを使って調理していることがわかる。食材の購入先はスーパーマーケットで買い物をしているようである。食材購入の回数と金額では、男子学生が回数「3日に1回」に多く、その反面金額の使い方が一定していないことがわかる。女子学生は回数「3日に1回、その他」に偏っていて、金額との比較から買い物回数は少なく、まとめ買いの行動をしていると推察できる。なお、その他の記述の多くは週に1回と回答している。

アンケートの設問方法3より

加熱設備は男子学生、女子学生のアパートにすべて備わっており、ガス、IH半々の割合であった。口数は1口、2口に偏っていた。給湯器は女子学生のアパートで被験者の50%が「なし」と回答している。台所の広さでは、男子学生のアパートで75%がかなり狭い若しくは狭いに偏っていた。女子学生のアパートでは50%であった。台所の平面形では、男子学生、女子学生共に長方形が多かった。調理スペースでは、男子学生、女子学生共に約50%のアパートが調理スペースがないと回答している。台所の位置では、男子学生、女子学生共に玄関に接していると回答したのが多かった。

この設問から学生アパート、まだまだIHの普及には至っていないようである。また、調理の空きを含めて台所の広さも確保されてない現状が把握されおり、台所の位置も含め平面形への考慮が必要である。また、台所の広さの指針として、広さがちょうど良いと回答した人数と台所の位置が玄関から独立していると回答した人数が同数であることから、玄関から独立している形、位置がよいのではないかと考える。

5-2. 金沢地域の考察

アンケートの設問方法1より

アパート暮らしの学生が多いと考えていたが、集計してみると自宅からの通学生が多いことがわかった。(表-6) だが、通学生は金沢市近郊からの通学ではなく、能登や富山方面からの通学生であった。通学時間も60分以上かかって通学している学生が自宅通学生の約70%を占めていた。(表-7) 一方、アパート通学生は大学から15分の距離に住んでいる学生が多く、大学の近郊に集中していて、60分以上かけて通学する学生はいなかった。(表-8) また、アパート通学生のアパートにはすべてキッチンが備えられていることもわかった。富山県内からの距離は電車とバスを乗り継いでも金沢には多くの本数のバスが走っているため、アパートを借りる必要のない距離であるようでもある。しかし、新潟から金沢市までの距離を考えると、金沢であればアパートを借りるところである。

アンケートの設問方法2より

自宅通学生においては冷蔵庫、電子レンジはすべての被験者が備えられていた。湯沸ポットは被験者の約8割が備えていた。自炊の有無では、全くしないという回答が一番多く男女共に全被験者の6割を占めていた。ただし、時々するという被験者の中では男性被験者が1に対し女性被験者が3の割合であった。男性よりは女性の方が母親の代わりに食事をつくることが多いのであろうと考えられる。自炊する・時々自炊をすると回答した被験者に自炊時に良くつくる料理を聞いてみると男子学生ではサラダ・カレーライス・パスタ・みそ汁が多く、女子学生では目玉焼き、ラーメンをつくるのが多かった。これを自炊に要する時間と照らしあわせてみると男子学生は一定していなかった。女子学生は15分以上はかけて自炊をしているのが多いことから被験者の女子学生は自宅の手伝いとして母親の代わりに自炊をしているのだろうと推察できる。また、女子学生の食材購入金額をみても2000円以上と回答していること、食材の購入先がスーパーマーケットであること、食材購入回数が1日に1回と多いことを観察すると時々するという自炊がお母さんのお手伝いとして考えられる。

アパート通学生においては、冷蔵庫・電子レンジはすべての被験者が備えていた。湯沸ポットも先の自宅通学生よりは多かった。自炊の有無では、男子学生は「毎日する」「時々する」をあわせて約9割が自炊をしていた。女子学生では、すべての被験者が「毎日する」「時々する」と回答し、自炊をしていることがわかった。自炊の質、内容としては「自炊に要する時間」「よくつくる料理」から男子学生はある程度時間をかけて調理料理する学生が多いとみうけられ、鍋、フライパンを使う自炊である。女子学生は調理時間が30分

～45分かけていることから少なくとも鍋、フライパンを使って調理していることがわかる。食材の購入先はスーパーマーケットで買い物をしているようである。食材購入の回数と金額では、男子学生が回数「3日に1回」に多く、金額においても1500以上の使い方をしていることがわかる。女子学生は回数「週に1回のその他」に偏っていて、金額との比較から買い物回数は少なく、まとめ買いの行動をしていると推察できる。

アンケートの設問方法3より

加熱設備は男子学生、女子学生のアパートにすべて備わっており、ガスよりはIHの割合が高い。口数は1口、2口に偏っていた。給湯器は女子学生のアパートで10%が「なし」と回答している。台所の広さでは、男子学生のアパートで60%がかなり狭い若しくは狭いに偏っていた。女子学生のアパートでは50%であった。台所の平面形では、男子学生、女子学生共に長方形が多かった。調理スペースでは、男子学生、女子学生共に十分ではないが調理スペースがあると回答している。台所の位置では、男子学生、女子学生共に玄関に接していると回答したのが多かった。

この設問から金沢の学生アパートはIHの普及が高い。また、調理の空きを含めて台所の広さも確保されていない現状が把握されており、台所の位置も含め平面形への考慮が必要である。

5-3 千葉と金沢にみる相違・特徴（アパート学生を対象にみる）

1. 「自炊に要する時間」が、男子学生では千葉も金沢も同じ15分～30分が多かった。しかし、女子学生においては千葉が30分～45分であるのに対し金沢は15分～30分が多かった。男子学生は気候・地域に関係なく時間をかけずに食べられる自炊を行うようである。女子学生においては、千葉の学生の方が時間がかかっても“つくる”という意識が高いようである。一方の金沢の女子学生は、時間をかけずに食べられる自炊を行うようである。

2 「食材購入の回数」では千葉の男子学生は3日に1回が圧倒的に多いが、金沢の男子学生はその他と3日に1回に偏っており一定していないことがわかった。一方、女子学生においては千葉、金沢共に「その他」に偏っており、ほぼ週1回の購入が多いようである。

3 「食材購入の金額」では千葉の男子学生も金沢の男子学生も購入金額は一定していないが、女子学生では千葉が1000～1500円なのに対し金沢は1500～2000円であった。千葉よりは金沢の方が物価が高いのかもしれないと推察する。

6. まとめ

今、学生アパートの各個室にはキッチンが備えられ、冷蔵庫・電子レンジも台所に備えられるようになって、学生たちは毎日自炊をしているのだろうかと考え、その意識調査の目的でアンケートを実施した。アンケートの結果を振り返ってみて以外と自炊をしていることに驚いた。街中にはファミリーレストラン、お弁当屋、牛丼店、コンビニエンスストアなど安くて、気軽に食べれる外食店があるのに、買い物をきちっとスーパーマーケットで行っていることを知りホッとしている。ただし、食材の購入金額で500円と回答した学生も少なからず多くいることも事実である。今回初めての取り組みでもあり、アンケートを作成、回収、集計作業をしていて不足の項目も目についた。例えば「よくつくる料理」の問いに対して冷凍食品なのか、キャベツや卵などの具の調理をしたものなのかの点がわかれば調理時間との整合性と具体的な内容までもが詳細にわかったように考える。

また、アンケートの被験者に自宅通学生が多かったことから本来の求めたい1人暮らしのデータが少なかったことが悔やまれる。もし叶えられるならば不動産屋を通した学生アパートのアンケートの実施をしたいと考えている。今アンケートでは実施時期と不動産屋さんの入学者への対応時期と被ってしまい実現がかなわなかったが、この時期を外しての取り組みも必要に感じている。

最後に、アンケート報告書に大阪市立大学の分析も掲載と考えておりましたが、大阪市立大学より集計データが届いたのが2月26日で、被験者数も大変多く、また被験者の学生の9割が自宅通学であったために今報告書では千葉、金沢地域のみで報告させていただきました。

『食生活における自炊とキッチンの活用状況に関する調査』

－ 大学生の場合 －

このアンケート調査は、公益社団法人インテリア産業協会の助成を受けて実施するものです。電話が有線から無線へと変化して電化が目覚ましく進歩し、それと同時に食生活の環境も大きく変わってきました。このような時代に、学生の皆さんが自炊とキッチンについてどのように考えているのかを調べるものです。このアンケートの結果はこの調査目的以外には使用しません。お手数おかけしますが、よろしくお願いいたします。

金沢学院大学 棒田邦夫研究室

各設問について該当すると思われる番号に○をつけてください。また、設問の中には複数回答と記述の箇所もあります。複数回答には(あてはまるものすべてに○を)とあります。

Q 01. お住まいの地域

- ① 金沢市 ② 野々市市 ③ 白山市 ④ その他の市 ()

Q 02. 性別

- ① 女性 ② 男性

Q 03. 学年・学科名

- () 年生 ・ 学科名 ()

Q 04. 大学までの通学時間

- ① 15 分以下 ② 15 分～30 分 ③ 30 分～45 分 ④ 45 分～60 分 ⑤ 60 分以上

Q 05. 住まいの形式

- ① 自宅 ② アパート (Q 06 へ回答) ③ 学生寮 (Q 07 へ回答) ④ 下宿 (Q 08 へ回答)

Q 06. Q 05 の②に○をつけた方、アパートにキッチン

- ① ある ② ない

Q 07. Q 05 の③に○をつけた方、学生寮(あてはまるものすべてに○を)

- ① 食事あり ② 食事なし ③ 個室 ④ 相部屋

Q 08. Q 05 の④に○をつけた方、下宿(あてはまるものすべてに○を)

- ① 食事あり ② 食事なし ③ 個室 ④ 相部屋

Q 09. 冷蔵庫

- ① ある ② ない

Q 10. 電子レンジ

- ① ある ② ない

Q 11. 湯沸ポット

- ① ある ② ない

Q 12. 自炊について

- ① 毎日する (Q13・Q17～21へ回答) ② 時々する (Q14～Q21へ回答) ③ 全くしない (Q 22 へ回答)

Q 13. Q12 の①に○をつけた方

- ① 毎食する ② 朝食のみ ③ 昼食のみ ④ 夕食のみ ⑤ 朝食+昼食 ⑥ 朝食+夕食 ⑦ 昼食+夕食

Q 14. Q12 の②に○をつけた方、平日では

- ① 朝食のみ ② 昼食のみ ③ 夕食のみ ④ 決まっていない ⑤ その他 ()

Q 15. Q12 の②に○をつけた方、休日では

- ① 朝食のみ ② 昼食のみ ③ 夕食のみ ④ 決まっていない ⑤ その他 ()

Q 16. Q12 の②に○をつけた方、自炊回数

- ① 週1回 ② 週2回 ③ 週3回 ④ 週4回 ⑤ 週5回 ⑥ 週6回 ⑦ その他(週 回)

Q 17. Q12 の①②に○をつけた方の自炊に要する時間

- ① 5分以下 ② 5分～15分 ③ 15分～30分 ④ 30分～45分 ⑤ 45分以上 ⑥ その他 ()

裏面に続く

- Q 18. Q12の①②に○をつけた方のよくつくる料理（5つ以内&Q19へ回答）
 (.)
- Q 19. Q12の①②に○をつけた方、Q18 で書いた方の調理後
 ① 調理器具は食べる前に洗う ② 調理器具は食べた後、食器と共に洗う ③ すぐには洗わない
- Q 20. Q12の①②に○をつけた方、調理器具、食器を洗った後
 ① 食器かごに入れる ② 布巾でふく ③ その他 ()
- Q 21. Q12の①②に○をつけた方、残飯等の生ゴミについてお聞かせください。
 ① 生ゴミ専用ボックスに入れる ② ゴミ袋に入れる ③ その他 ()
- Q 22. Q12の③に○をつけた方、自炊全くない理由（あてはまるものすべてに○を）
 ① 学食で食べる ② 外食する ③ 店で買う ④ キッチンがない ⑤ キッチンが汚い ⑥ つくる時間がない
 ⑦ においが残る ⑧ キッチンが使いにくい ⑨ 自炊がめんどろ ⑩ その他 ()
- Q 23. 加熱設備
 ① ガス ② IH ③ 電気コンロ ④ ない
- Q 24. 加熱設備の口数
 ① 1口 ② 2口 ③ 3口
- Q 25. 給湯器
 ① 室内に付いている ② 室外に付いている ③ ない
- Q 26. 台所の広さ
 ① かなり狭い ② 狭い ③ ちょうど良い ④ 広い ⑤ かなり広い
- Q 27. 台所の平面形
 ① 正方形 ② 長方形 ③ その他 ()
- Q 28. 調理スペース
 ① 調理スペースが十分にある ② 調理スペースがある ③ 調理スペースがない ④ 調理スペースが全く
 くない ⑤ その他 ()
- Q 29. 台所の位置
 ① 玄関に接している ② 玄関から独立している ③ 部屋の中にある ④ 玄関と部屋から独立している
 ⑤ その他 ()
- Q 30. 食事のスタイル
 ① 椅子に座ってテーブルで食べる ② 床に座ってテーブルで食べる ③ その他 ()
- Q 31. 食生活に対するこだわりがありますか？
 ① ある (Q32へ回答を) ② ない
- Q 32. Q31の①と答えた方のこだわり（あてはまるものすべてに○を）
 ① 自然食品 ② 健康ドリンク・サプリメント ③ レトルト・冷凍食品 ④ 商品表示をみる ⑤ ダイエット
 ⑥ 朝食を必ず取る ⑦ 1日に1度はお米を食べる ⑧ 野菜を毎食とっている ⑨ テレビを見ながら食べる
 ⑩ 生産地をみる ⑪ 賞味期限をみる ⑫ 肉中心 ⑬ 魚中心 ⑭ 米よりパンが好き ⑮ 好き嫌いが
 ない ⑯ その他 ()
- Q 33. 食材は、主にどこで購入しますか（あてはまるものすべてに○を）
 ① コンビニエンスストア ② スーパーマーケット ③ デパ地下 ④ ファーストフード ⑤ 専門店（魚屋 etc）
 ⑥ その他 ()
- Q 34. 食材購入の回数
 ① 1日に1回 ② 1日に2回 ③ 1日に3回 ④ 2日に1回 ⑤ 3日に1回 ⑥ その他 ()
- Q 35. 1回に食材を購入する金額
 ① 500円以下 ② 500～1000円 ③ 1000～1500円 ④ 1500～2000円 ⑤ 2000円以上

ご協力をいただきありがとうございました。